

第41回(平成20年度)岡山県三木記念賞及び同助成金 受賞者の決定と授与式の挙行について

1 事業の概要及び経過

(1) 岡山県三木記念事業

故岡山県知事三木行治氏が受賞されたマグサイサイ賞の賞金を原資として広く一般から浄財を募り、岡山県三木記念事業基金を設け、同氏の業績をたたえるとともに、その人間愛に満ち公共奉仕に徹した精神を生かす目的で、地域社会の発展に貢献したものを顕彰し(個人)又は助成する(団体)ものである。

なお、昭和43年が第1回であり、本年度が第41回である。

(2) 受賞者決定までの経過

- ・ 4月14日(月) 実施要領発表
- ・ 5月19日(月) 推薦締切り <候補者(団体)数>

三木記念賞の部	8人
三木記念助成金の部	12団体

- ・ 7月3日(木) 第1回運営審議会……受賞候補者選考の諮問
- ・ 7月31日(木) 第2回運営審議会……受賞候補者の選考及び答申

2 第41回(平成20年度)岡山県三木記念賞及び同助成金受賞者

(1) 岡山県三木記念賞(表彰状・メダル及び賞金30万円)

部門	氏名	年齢	役職等
行政	該当なし		
社会	おおつき しげる 大月 茂	80	(財)岡山県身体障害者福祉連合会副会長
産業	わたなべ じゅんぞう 渡邊 醇造	82	白菊酒造株式会社相談役
文化	たかはし しゅう 高橋 秀	78	倉敷芸術科学大学教授
国際親善	該当なし		

(2) 岡山県三木記念助成金(表彰状及び助成金50万円)

部門	団体名	代表者
行政	該当なし	
社会	山陽新聞社地域ふれあい事業 「金婚夫婦お祝いの集い」実行グループ	代表取締役社長 越宗 孝昌
産業	株式会社メイト	代表取締役社長 赤岩 修次
文化	該当なし	
国際親善	該当なし	

3 授与式

- (1) 日時 平成20年9月3日(水) 午前11時から
- (2) 場所 岡山市古京町1-1-10
岡山衛生会館「5階中ホール」

三木記念賞

社会部門

新見市草間

おおつき

しげる

大月

茂 (80歳)

1 主な経歴

昭和47年	1月	新見市消防団東部分団長 (昭和52年11月まで)
昭和49年	4月	新見市身体障害者福祉協会理事 (現在に至る)
昭和50年	8月	新見市農業委員 (昭和60年7月まで)
昭和63年	4月	岡山県身体障害者相談員 (平成20年3月まで)
平成2年	4月	新見市社会福祉協議会理事 (平成17年3月まで)
平成2年	5月	新見市身体障害者福祉協会長 (現在に至る)
平成3年	7月	(財)岡山県身体障害者福祉連合会理事 (平成7年6月まで)
平成7年	7月	(財)岡山県身体障害者福祉連合会副会長 (現在に至る)
平成11年	9月	岡山県身体障害者相談員協議会副会長 (平成20年8月まで)

2 功績の概要

氏は、昭和49年から新見市身体障害者福祉協会の役員として、障害者の更生援護活動に献身的な取り組みを続け、現在は岡山県身体障害者福祉連合会副会長として、障害者の先頭に立って、障害者福祉の向上に努めている。

なかでも、身体障害者のスポーツを通じた社会参加促進、過疎地域の障害者・高齢者の移送サービス事業の立ち上げなどに格別に尽力した。

さらに、昭和63年から身体障害者相談員となり、平成20年3月まで勤められ、平成11年度からは岡山県身体障害者相談員協議会の副会長に就任し、研修会の開催等により相談員の資質向上に尽力されるなど岡山県の障害者福祉の向上に多大なる貢献を果たしており、その功績は顕著である。

三木記念賞

産業部門

高梁市成羽町

わた なべ じゅん ぞう

渡 邊 醇 造 (82歳)

1 主な経歴

- 昭和38年 2月 株式会社渡邊酒造代表取締役
- 昭和44年 4月 成羽町消防団長 (昭和45年11月まで)
- 昭和45年11月 成羽町長 (昭和49年10月まで)
- 昭和48年11月 成羽大関酒造株式会社代表取締役 (平成3年2月まで)
- 昭和55年 4月 (協)岡山県産酒容器流通センター理事長 (平成12年8月まで)
- 平成 2年 5月 岡山県酒造組合連合会会長 (平成12年8月まで)
- 平成 2年 5月 岡山県酒造協同組合理事長 (平成12年8月まで)
- 平成 3年 2月 備北信用金庫理事長 (平成9年4月まで)
- 平成19年 4月 白菊酒造株式会社取締役会長 (平成19年8月まで)
- 平成19年 8月 白菊酒造株式会社相談役 (現在に至る)

2 功績の概要

氏は、成羽大関酒造株式会社 (現在の白菊酒造株式会社) の代表者時には、岡山県酒造組合連合会会長、岡山県酒造協同組合理事長など酒造業界における要職を歴任するとともに (協)岡山県産酒容器流通センターを設立し、構造改善として6本入P箱容器の共同リサイクル事業を日本で最初に行うなど日本酒の普及と酒造業界の発展に尽力した。

また、成羽町消防団長、備北信用金庫理事長等、備中地域における多数の公職を勤め、成羽町長時代には、ユニチカ成羽株式会社や現住友電工焼結合金株式会社の企業誘致を行うなど、地域の産業振興と雇用確保をはじめ岡山県の発展に多大なる貢献を果たしており、その功績は顕著である。

三木記念賞

文化部門

倉敷市玉島

たか はし

高橋

しゅう

秀 (78歳)

1 主な経歴

- 昭和38年 イタリア政府招聘留学生として渡伊
- 平成8年 倉敷芸術科学大学教授（現在に至る）
- 平成13年 第1回全国高校生現代アートビエンナーレ展開催
（隔年開催 平成19年度第4回開催）
- 平成16年 母と子のアート教室「アトリエG A ga」開設
- 平成17年 倉敷現代アートビエンナーレ西日本開催
- 平成17年 第1回沙美アートフェスト開催
（毎年開催 平成20年度第4回開催）
- 平成18年 「秀桜基金留学賞」設立

2 功績の概要

氏は、昭和36年、絵画家の登竜門である「安井賞」を受賞し、昭和38年からイタリアに渡り、ローマを拠点に各種展覧会への出品や各地での個展開催を続ける一方、岡山県市町村振興センターやマービーふれあいセンターにモニュメントを作成するなど、幅広い活動をしている。

また、平成8年に倉敷芸術科学大学教授に就任後は、「全国高校生現代アートビエンナーレ」等の開催に中心的な役割を果たし、後進の育成に努めるとともに倉敷市玉島に居住してからは母と子のアート教室の開設や「沙美アートフェスト」の開催など、地域との関わりを大切に活動に力を注いでいる。

さらに、私費を投じ「秀桜基金留学賞」を設け、若手芸術家の海外留学への支援を行っている。

氏は、60余年の永きにわたり創作活動に情熱を傾け、数々の作品を発表するとともに後進の育成にも熱心に取り組んできており、岡山県の文化向上に貢献した功績は顕著である。

三木記念助成金

社 会 部 門

名 称 山陽新聞社地域ふれあい事業
「金婚夫婦お祝いの集い」実行グループ
代表者 代表取締役社長 越宗 孝昌
所在地 岡山市柳町2丁目1番1号

1 概 要

山陽新聞社が創刊120周年記念の地域ふれあい事業として、健康で生きがいのある長寿社会を目指し金婚式を迎えた夫婦を対象に、平成11年に第1回「金婚夫婦お祝いの集い」を県内4会場で開催した。

以後毎年、県内3～5会場で実施しており、今年で第10回目となる。

2 業 績

当社は、激動の半世紀を共に支えあい、仕事に子育てに汗を流し、地域社会の発展に懸命に努力してきた方々を、金婚という節目で顕彰し、労をねぎらい感謝する式典を開催し、毎年1500組を超すご夫婦が参加され、10年間で1万3300組が祝福を受けている。

式典の様や出席者全員の氏名が詳しく山陽新聞紙上で紹介され、金婚式を迎える当人たちだけでなく、家族や知人、地域ぐるみの慶事にまで広がりを見せており、長寿社会に展望を開くうえで非常に意義深く地域文化・福祉の向上に多大な貢献をするとともに地域社会の発展に大きく寄与している。

三木記念助成金

産 業 部 門

名 称 株式会社メイト
代表者 代表取締役社長 赤岩 修次
所在地 和気町佐伯526-3

1 概 要

株式会社メイトは、「微粉碎加工技術」、「樹脂との混合、混練技術」等のコア技術を応用し、他社に先んじて各種複合材の開発を行っている研究開発企業であり、主要製品であるプラスチックマグネットでは、国内シェア70%、世界シェア30%を占めており、複合材の岡山発のオンリーワン企業である。

2 業 績

当社は、プラスチックマグネットの専門メーカーとしてコア技術を応用して、新材料の開発に積極的にチャレンジし、これまでにない機能をもった材料を開発する時代に1歩先んじた研究開発型企业として世界トップシェアを誇るに至っている。

また、成型時に発生するロス材のクローズドリサイクルを目指した開発や環境負荷の少ない材料で代替する高比重材料の開発を行うなど廃棄物の削減やクリーンエネルギーの実現等の環境保全に貢献しており、その独創的で先進的な研究開発により高度なもの作り技術を確立し科学技術の発展及び地域産業の活性化に寄与している。